第 51 回

公益社団法人日本技術士会北海道本部

年次大会資料

平成 28 年 6 月 8 日

公益社団法人日本技術士会　北海道本部

第51回 年次大会資料

日　時　：　平成28年6月8日（水）
場　所　：　ホテル札幌ガーデンパレス（道庁南側）
　　札幌市中央区北１条西６丁目　　TEL 011-261-5311

次　第　：

１．日本技術士会北海道本部年次大会　13：30～14：30（２Ｆ　丹頂・白鳥）

１）開　会
２）本部長挨拶
３）報告事項
　第１号報告　平成27年度事業報告及び決算報告
　第２号報告　平成28年度事業計画及び予算
　第３号報告　平成28年度北海道本部委員会等役員
　第４号報告　平成28年度日本技術士会会長表彰者（北海道本部）
　　植村　豊樹　氏（建設部門,総合技術監理部門）
　　金　　秀俊　氏（応用理学部門,総合技術監理部門）
　　布村　重樹　氏（建設部門,上下水道部門,森林部門,総合技術監理部門）

第 1 号報告

平成 27 年度　北海道本部事業報告　その 1

■北海道本部における主な行事等

- 会誌「コンサルタンツ北海道」〔136 号(H27.5.31),137 号(H27.9.30),138 号(H28.1.31)〕の発刊

- 平成 27 年度技術士第一次試験(H27.10.12　北海道大学高等教育推進機構にて実施)
  - ◇　受験申込者 933 名（21,780），受験者 774 名（17,170），合格者 351 名（8,693）

注）:（　）内は全国

- 平成 27 年度技術士第二次試験

【 1　～　20 部門 】(H27.7.20　札幌コンベンションセンターにて実施)
  - ◇　受験申込者 1,712 名（26,739），受験者 1,348 名（21,585），合格者 163 名（2,985）

【21：総合技術監理部門】(H27.7.19　札幌パークホテルにて実施)
  - ◇　受験申込者 276 名（4,084），受験者 226 名（3,293），合格者 33 名（664）

注）:（　）内は全国

- 平成 26 年度技術士第二次試験合格者歓迎会（主催：北海道本部）
  - ◇　開　催　日　：　平成 27 年 4 月 8 日（水）
  - ◇　場　　所　：　ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
  - ◇　出　席　者　：　65 名（新合格者 27 名，役員他 38 名）

- 平成 27 年度技術士第一次試験合格者歓迎会（主催：北海道本部）
  - ◇　開　催　日　：　平成 28 年 1 月 27 日（水）
  - ◇　場　　所　：　ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
  - ◇　出　席　者　：　46 名（新合格者 14 名，役員他 32 名）

- 公益社団法人日本技術士会北海道本部　第 50 回年次大会
  - ◇　開　催　日　：　平成 27 年 6 月 10 日（水）
  - ◇　場　　所　：　ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
  - ◇　出　席　者　：　北海道本部　（出席 201 名）
  - ◇　講　演　会

演　題　：「地球シミュレータ最大活用で拓く『海洋地球インフォマティクス』」

講　師　：　国立研究開発法人海洋研究開発機構　地球情報基盤センター長

高橋　桂子　氏

- 第 18 回北東 3 地域本部技術士交流研修会
  - ◇　開　催　日　：　平成 27 年 11 月 6 日（金）
  - ◇　場　　所　：　ホテルオークラ札幌（札幌市中央区）
  - ◇　特 別 講 演　：　北海道新幹線の開業に向けて

北海道総合政策部交通政策局　新幹線推進室長　本間 研一　氏

  - ◇　研 修 発 表　：　1.都市と地方の交流による地方創生の可能性と技術士の役割

－北海道豪雪地帯での雪かきツアーの事例から－

一般社団法人北海道開発技術センター

中前 千佳（北海道本部/建設部門）

2.地方人口ビジョン及び地方版総合戦略策定と地域活性化

～新潟県内の自治体の取り組み事例の紹介～

エヌシーイー株式会社

小見 直樹（北陸本部/建設・農業・総合技術監理部門）

3.日本一小さな村の「子育て共助のまちづくり」の取り組み

株式会社新日本コンサルタント

大門 健一（北陸本部/建設・総合技術監理部門）

4. 福島第一原子力発電所の事故による現状と課題そして将来の可能性について
株式会社ふたば　遠藤 秀文（東北本部/建設部門）
5. 新たな地域活性化モデルによる交流人口拡大の試み
一般社団法人東北お遍路プロジェクト
髙橋 雄志（東北本部/建設部門）

◇ 出 席 者 ： 92名

●【ＷＥＢ中継】第3回地域産業活性化支援事例発表会
（主催：公益社団法人日本技術士会地域産業活性化支援実行委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年4月14日（火）
◇ 場　　所 ： Docon新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講　　演 ： 1.「平成27年度中小企業支援施策・予算と平成26年度補正予算について」
中小企業庁技術・経営革新課長　平井 淳生　氏
2.「地産地消の小水力発電　～農林業地域の再生可能エネルギーの現状～」
中部本部農業部門　竹尾 敬三　氏
3.「簡易積雪観測システム『かんそくん』(鳥取県経営革新大賞企画デザイン賞）の開発支援」
中国本部建設部門　桜井 博幸　氏
4.「神奈川県支部:第2回地域産業活性化研究会 in 大和」
神奈川県支部長　神戸 良雄　氏
5.「埼玉県支部:第2回彩の国産業活性化交流会」
埼玉県支部長　渡辺 孫也　氏
6.「茨城県支部:開催計画内容報告」
茨城県支部長　本田 永信　氏
7.「サービス産業のイノベーションに向けて～サービス産業の実情とセルフチェックリストによる経営革新・私の支援活動～」
経営工学部門　山根 幹大　氏
8.「地理情報活用により地域経済の活性化をめざす」
情報工学部門　山下 敦彦　氏
◇ 出 席 者 ： 12名

●【ＷＥＢ中継】広島土砂災害現地調査報告会
（主催：公益社団法人日本技術士会中国本部）
◇ 開 催 日 ： 平成27年6月18日（木）
◇ 場　　所 ： Docon新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講　　演 ： 1.「広島土砂流災害から学ぶこと」
日特建設(株)　上野　雄一　氏
2.「複雑な土石流形態から被害拡大要因を探る」
(株)ジオブレイン　小林　昇　氏
3.「土石流の発生源の形態から見た土砂災害リスク」
(株)ダイヤコンサルタント　矢ヶ部 秀美　氏
4.「平成26年8月広島土砂災害における八木３丁目の土石流」
復建調査設計(株)　中井　真司　氏
5.「広島土石流災害視察報告」
(株)ワールド測量設計　花本 孝一郎　氏
6.「広島土砂災害と斜面維持管理の話題」
愛媛大学　廣田 清治　氏
7.「広島土石流災害の流出土砂量の推定と愛媛県における計画流出土砂量の比較」
(株)芙蓉コンサルタント　須賀 幸一　氏

8.「既設治山ダムの評価と一考察」
(株)和コンサルタント　菊池 昭宏　氏

◇ 出 席 者 ： 4 名

●【ＷＥＢ中継】建設部会 7 月講演会
（主催：公益社団法人日本技術士会建設部会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 7 月 22 日（水）
◇ 場 所 ： Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講 演 ： 「火山噴火予知と火山防災について」
国立研究開発法人防災科学技術研究所観測・予測研究領域
地震・火山防災研究副ユニット長総括主任研究員　棚田 俊收　氏
◇ 出 席 者 ： 7 名

●【ＷＥＢ中継】8 月度技術士 CPD ミニ講座
（主催：公益社団法人日本技術士会 CPD 実行委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 8 月 19 日（水）
◇ 場 所 ： Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講 演 ： 「管理型最終処分場における現状と課題」
ダイユウ技研土木(株)技術顧問　檜垣 光次　氏
◇ 出 席 者 ： 12 名

●【ＷＥＢ中継】技術支援基礎講座
（主催：公益社団法人日本技術士会技術士活性化委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 11 月 16 日（月）
◇ 場 所 ： Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講 演 ： 「JIS，法文書など公文書の書き方 ―複数人執筆の基準―」
技術士[電気電子]，元 JISC 情報部会規格調整臨時委員　若鳥 陸夫　氏
◇ 出 席 者 ： 9 名

●【ＷＥＢ中継】建設部会 11 月講演会
（主催：公益社団法人日本技術士会建設部会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 11 月 18 日（水）
◇ 場 所 ： Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講 演 ： 「ストックマネジメント技術の現状と今後の動向について」
東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授　小澤 一雅　氏
◇ 出 席 者 ： 13 名

●【ＷＥＢ中継】支援基礎研修
（主催：公益社団法人日本技術士会技術士活性化委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 28 年 1 月 20 日（水）
◇ 場 所 ： Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講 演 ： 1.「ISO9001:2015 品質マネジメントシステム規格改訂のポイント」
技術士（経営工学）　志澤 達司　氏
2.「ISO14001:2015 環境マネジメントシステム規格改訂のポイント」
技術士（応用理学）　上野 一郎　氏
◇ 出 席 者 ： 16 名

●【ＷＥＢ中継】平成 27 年度海外技術協力実務講習会
（主催：公益社団法人日本技術士会海外活動支援委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 28 年 1 月 22 日（金）
◇ 場 所 ： Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講 演 ： 1.「これまでのキャリアを生かして JICA の国際協力を目指す方へ
～技術士として参入可能な JICA 事業及びポイントの紹介～」
国際協力機構(JICA)国際協力人材部次長　稲村 次郎　氏

2.「ASEANの経済環境と日系企業進出状況～メコン地域を中心に～」
日本貿易振興機構(JETRO)海外調査部アジア大洋州課　蒲田 亮平　氏
3.「JICA 業務経験技術士による実績紹介～如何にして JICA 業務を受注したか～」
(株)岩崎技術顧問　藤田 和夫　氏
4.「海外技術協力経験技術士による実績紹介～海外業務受注のポイント～」
技術経営研究センター所長　松井 武久　氏
5.「海外業務情報入手から受注までの流れ紹介～海外活動支援委員会からの情報提供～」
技術士事務所ケーエムソフト所長　熊澤 壽人　氏

◇ 出 席 者 ： 7名

●【ＷＥＢ中継】技術支援基礎講座
（主催：公益社団法人日本技術士会技術士活性化委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成28年3月16日（水）
◇ 場　　所 ： Docon新札幌ビル(札幌市厚別区)
◇ 講　　演 ： 1.「東日本大震災の経験と危機管理について」
横浜国立大学特任教授，元東北地方整備局副長　宮本 卓次郎　氏
2.「省エネルギーに関する政策 と「省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業について」
経済産業省資源エネルギー庁省対策課　南須原 美恵　氏
3.「省エネルギー相談地域プラットフォームの実践事例」
技術士（上下水道）　塚原 忠一　氏

◇ 出 席 者 ： 6名

■北海道本部各委員会における主な講演会等

● 第24回総会・講演会（主催：道央技術士委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年4月24日（金）
◇ 場　　所 ： 蓬峠殿（室蘭市）
◇ 講　　演 ： 「橋梁の維持管理について」
(株)タナカコンサルタント専務取締役　田中 雄太　氏
◇ 出 席 者 ： 23名

● 平成27年度　年次大会（主催：道北技術士委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年4月25日（土）
◇ 場　　所 ： ホテルクレッセント旭川（旭川市）
◇ 講　　演 ： 1.「技術士を巡る動向」
日本技術士会北海道本部事務局長　森 隆広　氏
2.「土砂災害の基礎知識」
北海道開発局旭川開発建設部次長　小林 幹男　氏
3.「中高年男性の泌尿器科」
医療法人神楽岡泌尿器科院長　渋谷 秋彦　氏
◇ 出 席 者 ： 38名

● 平成27年度総会（主催：防災委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年5月13日（水）
◇ 場　　所 ： TKPガーデンシティ札幌駅前（札幌市中央区）
◇ 講　　演 ： 「平成26年広島災害からみた北海道の土砂災害」
(株)ドーコン環境事業本部技術顧問　田近 淳　氏
◇ 出 席 者 ： 52名

- 総会及び第 1 回 CPD 研修「新規合格者による技術発表会」（主催：道南技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ： 平成 27 年 5 月 15 日（金）
  - ◇ 場　　所 ： ホテルリソル函館（函館市）
  - ◇ 講　　演 ： 1.「日本海に面した道道での越波防止柵と消波ブロックを併用した越波対策工法の計画・設計および施工計画の立案」
    (株)東鵬開発　原田 雄一　氏
    2.「技術士を巡る動向」
    日本技術士会北海道本部事務局長　森 隆広　氏
  - ◇ 出 席 者 ： 26 名

- 第 6 回技術者倫理フォーラム（主催：倫理委員会）
  - ◇ 開　催　日 ： 平成 27 年 5 月 22 日（金）
  - ◇ 場　　所 ： ホテルポールスター札幌（札幌市中央区）
  - ◇ 講　　演 ： 1.「『安楽死と倫理』―プロセスとしての終末期医療―」
    札幌医科大学医療人育成センター講師　船木 祝　氏
    2.「旭川高等専門学校における共同授業について」
    日本技術士会北海道本部倫理委員長　今井 淳一　氏
    3.「リスクアセスメントと技術者倫理」
    日本技術士会北海道本部倫理委員会　川浦 広樹　氏、立花 邦雄　氏
  - ◇ 出 席 者 ： 74 名

- 第 71 回総会・講演会（主催：道東技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ： 平成 27 年 5 月 22 日（金）
  - ◇ 場　　所 ： 釧路プリンスホテル（釧路市）
  - ◇ 講　　演 ： 「水産物の鮮度保持技術について」
    北海道立総合研究機構水産研究本部
    中央水産試験場加工利用部長　木村 稔　氏
  - ◇ 出 席 者 ： 45 名

- 技術講演会（主催：オホーツク技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ： 平成 27 年 5 月 22 日（金）
  - ◇ 場　　所 ： ホテルベルクラッシック北見（北見市）
  - ◇ 講　　演 ： 「ベトナムのインフラ整備状況・東北震災復興状況」
    オホーツク技術士委員会前代表　大島 俊之　氏
  - ◇ 出 席 者 ： 80 名

- 総会・特別講演会（主催：北方海域技術研究委員会）
  - ◇ 開　催　日 ： 平成 27 年 5 月 29 日（金）
  - ◇ 場　　所 ： 北海道開発協会（札幌市北区）
  - ◇ 講　　演 ： 1.「私たちの暮らしと地球温暖化～IPCC AR5 から～」
    北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター
    環境保全部地球・大気環境グループ主査　芥川 智子　氏
    2.「漁港法の変遷について～将来展開を考える参考に～」
    北海道開発局農業水産部水産課長　浅川 典敬　氏
  - ◇ 出 席 者 ： 53 名

- 平成 27 年度「ワークショップ」（主催：青年技術士交流委員会）
  - ◇ 開　催　日 ： 平成 27 年 6 月 13 日（土）
  - ◇ 場　　所 ： さっぽろ大通コワーキングスペース ドリノキ（札幌市中央区）
  - ◇ 講　　演 ： 「クロスロードゲーム手法を用いたワークショップ」
    (一社)北海道開発技術センター研究員　中前 千佳　氏
  - ◇ 出 席 者 ： 30 名

- 平成 27 年度「テクニカルツアー」（主催：青年技術士交流委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 7 月 8 日（水）
  - ◇ 場　　所 ：　青函トンネル他（新函館北斗駅【渡島大野駅】、白符斜坑口、吉岡斜坑基地、吉岡定点ほか）
  - ◇ 出　席　者 ：　12 名

- 第 2 回 CPD 研修（主催：道南技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 7 月 10 日（金）
  - ◇ 場　　所 ：　ホテル法華クラブ函館（函館市）
  - ◇ 講　　演 ：　「仮設工計画の実例紹介と問題点」
    (株)エジソンブレイン代表取締役　奈良 哲男　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　23 名

- 平成 27 年度第 1 回研修会（主催：リージョナルステート研究委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 7 月 17 日（金）
  - ◇ 場　　所 ：　札幌エルプラザ（札幌市北区）
  - ◇ 講　　演 ：　「水素社会北海道の実現に向けて」
    北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室主幹　高橋 奉己　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　22 名

- 第 10 回勉強会（主催：北海道スタンダード研究委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 7 月 21 日（火）
  - ◇ 場　　所 ：　TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン（札幌市中央区）
  - ◇ 講　　演 ：　「北の大地に魅せられた男～日本のウイスキーの父 竹鶴政孝～」
    ニッカウヰスキー(株)理事 工場長　西川 浩一　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　34 名

- 技術研修会（宿泊コース）（主催：事業委員会、共催：道央技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 7 月 24 日（金）、25 日（土）
  - ◇ 場　　所 ：　JX 室蘭製造所、新日鉄住金室蘭製鉄所、エコワークス苫小牧
  - ◇ 出　席　者 ：　18 名

- 第 27 回防災セミナー（主催：防災委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 8 月 25 日（火）
  - ◇ 場　　所 ：　TKP 札幌駅カンファレンスセンター（札幌市北区）
  - ◇ 講　　演 ：　1.「デジタル地理情報の地形学と土砂災害への応用」
    東京大学空間情報科学研究センター長・教授　小口 高　氏
    2.「防災マップにおける地図表現と手法」
    北海道地図(株)開発企画室長　関 洋祐　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　95 名

- 平成 27 年度講演会（主催：北方海域技術研究委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 8 月 28 日（金）
  - ◇ 場　　所 ：　かでる 2・7（札幌市中央区）
  - ◇ 講　　演 ：　1.「コンクリートができること」
    北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所
    環境研究部建築技術グループ主査(建築保全)　谷口 円　氏
    2.「近年の北海道近海の海象の特徴―異常海象と防災―」
    北海道大学工学研究院環境フィールド工学部門
    水圏環境工学分野准教授　渡部 靖憲　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　41 名

- 平成 27 年度第 1 回施設見学会及び講演会（主催：道央技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 9 月 9 日（水）

◇ 見 学 場 所 ： Ｊファーム苫小牧
◇ 講 演 場 所 ： (株)タナカコンサルタント
◇ 講　　演 ： 「技術者倫理を考える」
日本技術士会北海道本部倫理委員長　今井 淳一　氏
◇ 出 席 者 ： 16 名

- 技術研修会（日帰りコース）（主催：事業委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 9 月 16 日（水）
◇ 場　　所 ： 道の駅サーモンパーク千歳、千歳川遊水地群工事現場
◇ 出 席 者 ： 36 名

- 平成 27 年度現地研修会（主催：道北技術士委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 9 月 16 日（水）
◇ 場　　所 ： 日信工業ブレーキテストコース、北の峰トンネル施工現場、十勝岳火山砂防情報センター、青い池
◇ 出 席 者 ： 21 名

- 平成 27 年度第 2 回研修会（主催：リージョナルステート研究委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 9 月 25 日（金）
◇ 場　　所 ： 札幌エルプラザ（札幌市北区）
◇ 講　　演 ： 「北海道における中小水力発電の可能性について」
北海道文教大学非常勤講師　宮本 融　氏
◇ 出 席 者 ： 28 名

- 平成 27 年度定例会（主催：北方海域技術研究委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 10 月 1 日（木）
◇ 場　　所 ： 北海道立総合研究機構栽培水産試験場会議室（室蘭市）
◇ 講　　演 ： 1.「近年の高水温化が北海道の水産資源に与える影響」
北海道立総合研究機構栽培水産試験場調査研究部
管理増殖グループ研究主任　城 幹昌　氏
2.「室蘭地域マリンビジョン ～取り組みと改訂について～」
室蘭開発建設部室蘭港湾事務所長　森 信幸　氏
3.「水産業の海外展開に向けて」
室蘭工業大学地域共同研究開発センター准教授　片石 温美　氏
◇ 出 席 者 ： 33 名

- 第 3 回 CPD 研修（主催：道南技術士委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 10 月 7 日（水）
◇ 場　　所 ： 桐朋会館（函館市）
◇ 講　　演 ： 1.「平成 24 年 7 月改定　道路土工擁壁工指針の改訂と実運用について」
(株)東鵬開発　田口 謙一　氏
2.「平成 24 年 8 月改訂　道路土工軟弱地盤対策工指針の改定ポイントと実運用について」
(株)東鵬開発　楢山 透　氏
◇ 出 席 者 ： 29 名

- 平成 27 年度「テクニカルツアー」（主催：青年技術士交流委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 10 月 16 日（金）
◇ 場　　所 ： 水道施設見学会（平岸配水池、白川浄水場）
◇ 出 席 者 ： 41 名

- 平成 27 年講演会（主催：社会活動委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成 27 年 10 月 16 日（金）
◇ 場　　所 ： ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）

◇ 講　　演 ： 「粘菌～偉大なる単細胞が人類を救う～」
北海道大学電子科学研究所生命動態研究分野教授　中垣 俊之　氏
◇ 出 席 者 ： 87名

- 第4回CPD見学会（主催：道南技術士委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年11月12日（木）
◇ 場　　所 ： 都市計画道路3・4・47「文教通り工事現場視察」、函館山麓：「山背泊急傾斜地工事現場」
◇ 出 席 者 ： 40名

- 平成27年度施設見学会（主催：リージョナルステート研究委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年11月13日（金）
◇ 場　　所 ： 苫東ファーム、北海道曹達(株)
◇ 出 席 者 ： 19名

- 平成27年度講演会（主催：青年技術士交流委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年11月13日（金）
◇ 場　　所 ： sapporo55ビル1Fインナーガーデン（札幌市中央区）
◇ 講　　演 ： 「伝える、伝わる。～実体験から学ぶ、心を動かすコミュニケーション」
(株)FOOD VOICE代表取締役　今野 徹　氏
◇ 出 席 者 ： 40名

- 平成27年度第2回施設見学会及び講演会（主催：道央技術士委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年11月27日（金）
◇ 見 学 場 所 ： 北海道糖業株式会社　道南製糖所
◇ 講 演 場 所 ： 伊達歴史の杜カルチャーセンター（伊達市）
◇ 講　　演 ： 「北海道新幹線開業による道央圏への影響について」
(一社)北海道開発技術センター　長谷川 哲也　氏
◇ 出 席 者 ： 13名

- 平成27年度 技術研究発表会（主催：北方海域技術研究委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年12月4日（金）
◇ 場　　所 ： 独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所（札幌市豊平区）
◇ 講　　演 ： 1.「オホーツク海における海岸道路の盛土被害の発生条件と対策の検討」
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
寒地水圏研究グループ寒冷沿岸域チーム研究員　本間 大輔　氏
2.「寒冷海域における沿岸施設の保護育成機能の解明に関する研究」
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
寒地水圏研究グループ水産土木チーム主任研究員　佐藤 仁　氏
3.「防波堤を越流する津波に対するブロックの安定性と滑動抵抗力の検討」
(株)不動テトラ総合技術研究所水理研究室研究員　三井 順　氏
4.「北海道の水素社会の形成に向けて」
北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室主査　島田 裕進　氏
◇ 出 席 者 ： 57名

- 第72回講演会（主催：道東技術士委員会）
◇ 開 催 日 ： 平成27年12月4日（金）
◇ 場　　所 ： アパホテル帯広駅前（帯広市）
◇ 講　　演 ： 「道東における貴重植物」
(株)エコシステム代表取締役　若原 正博　氏
◇ 出 席 者 ： 35名

- 第 5 回 CPD 研修（主催：道南技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 27 年 12 月 5 日（土）
  - ◇ 場　　所 ：　市営函館競輪場会議室（函館市）
  - ◇ 講　　演 ：　1.「函館の地盤と液状化危険度について」
    (株)ノース技研　宮田 恒夫　氏
    2.「失敗例から学ぶ設計定数の考え方」
    (株)ノース技研　布村 重樹　氏
    3.「情報ボックス設計の実例」
    (株)東鵬開発　藤田 弘毅　氏
    4.「河川護岸詳細設計の流れ」
    (株)ノース技研　外崎 和夫　氏
    5.「建設コンサルタント土木技術者としての倫理」
    (株)エジソンブレイン　奈良 哲男　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　25 名

- 第 11 回勉強会（主催：北海道スタンダード研究委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 28 年 1 月 22 日（金）
  - ◇ 場　　所 ：　TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン（札幌市中央区）
  - ◇ 講　　演 ：　「ホッカイドウ・アズ・ナンバーワン　～北海道観光の未来を考える～」
    北海道博物館館長　石森 秀三　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　31 名

- 第 5 回異業種交流会（主催：社会活動委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 28 年 2 月 10 日（水）
  - ◇ 場　　所 ：　札幌全日空ホテル（札幌市中央区）
  - ◇ テ　ー　マ ：　技術士と気象予報士の交流
  - ◇ 出　席　者 ：　14 名

- 第 6 回 CPD 研修（主催：道南技術士委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 28 年 2 月 12 日（金）
  - ◇ 場　　所 ：　函館市地域交流まちづくりセンター（函館市）
  - ◇ 講　　演 ：　1.「越波被害の著しい道路護岸における合理的な越波対策設計」
    函館市港湾空港部港湾課　木下 春樹　氏
    2.「国道の交通安全対策」
    (株)東鵬開発　藤田 弘毅　氏
    3.「流出抑制策の取り組みについて」
    日本データーサービス(株)　山科 裕康　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　20 名

- 第 14 回技術フォーラム（主催：事業委員会）
  - ◇ 開　催　日 ：　平成 28 年 2 月 24 日（水）
  - ◇ 場　　所 ：　ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
  - ◇ テ　ー　マ ：　「世界からみた北海道」
  - ◇ 第　1　部 ：　基調講演：「世界から見た北海道」
    1.「世界から見た北海道の気候」
    フリーキャスター　菅井 貴子　氏
    2.「我が国の社会資本整備の今後のあり方」
    国土交通省北海道局大臣官房審議官　田村 秀夫　氏
  - ◇ 第　2　部 ：　一般課題
    1.「オムニバス北海道の森林」
    防災地質工業(株)取締役技術顧問　安田 伸生　氏
    2.「北海道型地域構造を保持・形成するために必要な取り組み」
    (株)ドーコン交通事業本部都心交通企画室長　澤 充隆　氏
  - ◇ 出　席　者 ：　106 名

平成 27 年度　北海道本部事業報告　その２（会議等）

会　　議　　名	開催日	出席者数	主　た　る　議　題
第 57 回　定時総会　（統括本部）	27. 6.16	168	役員選任、常勤理事報酬、H26 事業報告 ほか
統括本部理事会　（第１回）	27. 5.12	36	H26 事業・収支報告 ほか
〃　（臨　時）	27. 6.16	36	会長・副会長の選定、常設委員会委員長の委嘱
〃　（第２回）	27. 7. 3	33	顧問・審議員・地域本部長の選任 ほか
〃　（第３回）	27. 9. 9	33	ｵｰｽﾄﾗﾘｱｴﾝｼﾞﾆｱ協会との友好協定締結 ほか
〃　（第４回）	27.11.12	35	台湾経済部との相互協力協定書の締結 ほか
〃　（第５回）	28. 1. 6	35	委員会委員等の異動、会員の入会等 ほか
〃　（第６回）	28. 3. 9	35	H28 事業計画・収支予算 ほか
地域本部長会議　（第１回）	27. 4.21	18	試験事務実施上の問題点、CPD 制度 ほか
〃　（第２回）	27. 8.26	17	WEB 会議システムの運用、CPD 制度・運用 ほか
〃　（第３回）	27.10.27	17	東日本大震災 5 周年シンポジウム ほか
〃　（第４回）	28. 2. 2	16	WEB 会議システム更新、会計ソフト導入 ほか
事務局会議：ＷＥＢ会議（第１回）	27. 8.24	37	一般会計：特別会計の費用割合 ほか
技術士試験担当者ＷＥＢ会議（第１回）	27. 5.27	35	H27 技術士試験実施概要・流れ・会場 ほか
【北海道本部】			
第 50 回　年次大会	27. 6.10	201	H26 決算報告、H27 事業計画・予算 ほか
役員会　（第１回）	27. 4. 8	27	H26 事業・決算報告、委員会の廃止 ほか
〃　（第２回）	27. 5.26	28	年次大会資料、H27・28 役員等体制 ほか
新体制検討会議　（臨　時）	27. 5.26	31	本部長の推薦、H27・28 役員等体制 ほか
役員会　（第３回）	27.11.30	27	H27 中間報告、H28 事業計画・予算 ほか
〃　（第４回）	28. 1.27	24	H28 技術士試験日程、研究委員会活動継続ほか
技術士試験委員会　（第１回）	27. 5.20	11	H26 事業報告、H27 事業計画 ほか
〃　（第２回）	27. 7. 2	18	技術士第二次試験監督の実施体制 ほか
〃　（第３回）	27.7.19～20	延 81	技術士第二次試験監督
〃　（第４回）	27.10. 5	28	技術士第一次試験監督の実施体制 ほか
〃　（第５回）	27.10.12	延 52	技術士第一次試験監督
〃　（第６回）	28. 2.16	10	H27 事業報告・決算報告、H28 事業計画 ほか
創立 50 周年実行委員会（第１回）	27.10.19	17	50 周年記念誌、記念講演、ｽｹｼﾞｭｰﾙ ほか
〃　（第２回）	28. 1.29	15	記念誌、来賓、地方委員会功労者表彰 ほか
【常設委員会】			
総務委員会　（第１回）	27. 8.20	11	創立 50 周年記念事業、個別手引きについて
〃　（第２回）	28. 1.29	10	H28 会長表彰の推薦
事業委員会　（第１回）	27. 5.12	8	H27 事業計画、予算案、役割分担について
〃　（第２回）	27. 7.13	10	見学会開催要領、北東 3 地域研修会について
〃　（第３回）	27. 9.14	8	日帰見学会、北東 3 地域、技術ﾌｫｰﾗﾑについて
〃　（臨　時）	27.10.15	5	技術フォーラムテーマ・内容打合せ

会　　議　　名		開催日	出席者数	主　た　る　議　題
〃	（第４回）	27.11. 9	9	技術フォーラムテーマ、開催要領
〃	（第５回）	28. 1.12	8	技術フォーラム役割分担、進捗確認
〃	（臨　時）	28. 2.22	11	技術フォーラム最終確認
広報委員会	（第１回）	27. 4. 9	13	会誌 136 号編集会議 ほか
〃	（第２回）	27. 5. 7	9	会誌 136 号原稿とりまとめ ほか
〃	（第３回）	27. 7.23	10	会誌 137 号編集会議 ほか
〃	（第４回）	27. 8.27	7	会誌 137 号原稿とりまとめ ほか
〃	（第５回）	27.11.26	9	会誌 138 号編集会議 ほか
〃	（第６回）	28. 1. 7	10	会誌 138 号原稿とりまとめ ほか
社会活動委員会	（第１回）	27. 4.24	8	構成メンバー、H27 活動計画と予算
〃	（第２回）	27. 7.24	10	講演会、異業種交流会について
〃	（第３回）	27. 9.17	7	講演会の案内、役割分担、異業種交流会(案)
〃	（臨　時）	27.12. 7	2	研究委員会継続ヒアリング
〃	（第４回）	28. 1.15	8	異業種交流会の準備について
【実行委員会】				
防災委員会	（第１回）	27. 4.15	10	総合幹事会 H27 活動内容・体制 ほか
〃	（第２回）	27. 5.13	52	H27 総会・講演会
〃	（第３回）	27. 6.23	12	総合幹事会 第 27 回防災ｾﾐﾅｰ ほか
〃	（第４回）	27. 9.14	8	総合幹事会 第 11 回全国防災連絡会議 ほか
〃	（第５回）	27.10. 1	2	第 11 回全国防災連絡会議(富山)参加
〃	（第６回）	27.10.30	9	総合幹事会 20 周年記念誌作成企画 ほか
〃	（第７回）	27.11.19～21	14	防災研修会 兵庫県神戸市、淡路島
〃	（第８回）	28. 2.27	10	20 周年記念誌座談会 これまでとこれから
〃	（第９回）	28. 3. 4	9	総合幹事会 20 周年記念誌、50 周年投稿 ほか
青年技術士交流委員会	（第１回）	27. 4.13	17	幹事会　H27 実施体制・活動計画
〃	（第２回）	27. 5.28	12	幹事会　研修会、「学校へ行こう」
〃	（第３回）	27.6.27～28	5	青年技術士交流拡大委員会(東京)参加
〃	（第４回）	27. 7. 2	15	幹事会　研修会、「学校へ行こう」
〃	（第５回）	27. 8. 4	15	幹事会　第 2 回・第 4 回研修会 ほか
〃	（第６回）	27. 9.15	9	幹事会　研修会、「学校へ行こう」
〃	（第７回）	27.10. 3	10	技術士全国大会(富山)青技交行事参加
〃	（第８回）	27.10. 7	10	幹事会　研修会、「学校へ行こう」 ほか
〃	（第９回）	27.10.22～24	2	日韓技術士会議(韓国・水原)参加
〃	（臨　時）	27.10.24～25	7	寒地土木研究所協力(第 9 回環境科学展)
〃	（第 10 回）	27.11.11	9	幹事会　研修会、「学校へ行こう」
〃	（第 11 回）	27.12.22	20	幹事会　H27 活動総括、H28 活動計画(案)
〃	（第 12 回）	28. 2.26	10	幹事会　H28 企画戦略、札工 SPH ほか
倫理委員会	（第１回）	27. 4.13	20	定例会　H27 体制、技術者倫理ﾌｫｰﾗﾑ ほか
〃	（第２回）	27. 6.22	15	定例会　倫理ﾌｫｰﾗﾑ報告 H27 活動方針 ほか
〃	（第３回）	27. 8.10	21	定例会　旭川高専授業支援、事例研究

会　　議　　名	開催日	出席者数	主　た　る　議　題
〃　（第４回）	27.10.13	19	定例会　旭川高専授業支援、教材試案
〃　（臨　時）	27.12. 7	5	第１回旭川高専共同授業
〃　（第５回）	27.12.14	18	定例会　旭川高専授業支援、教材試案
〃　（臨　時）	26.12.21	5	第２回旭川高専共同授業
〃　（臨　時）	28. 1.18	5	第３回旭川高専共同授業
〃　（第６回）	28. 2. 8	20	定例会　教材試案 ほか
【研究委員会】			
北方海域技術研究委員会（第１回）	27. 5. 7	9	幹事会　H27 総会・講演会 ほか
〃　（第２回）	27. 5.29	53	H27 総会・講演会
〃　（第３回）	27. 7. 3	7	幹事会　平成 27 年度講演会、２カ年活動計画
〃　（第４回）	27. 8. 7	9	幹事会　平成 27 年度講演会・定例会 ほか
〃　（第５回）	27. 8.28	11	幹事会　平成 27 年度定例会 ほか
〃　（第６回）	27.10. 1	10	幹事会　平成 27 年度技術研究発表会 ほか
〃　（第７回）	27.12. 4	9	幹事会　中間事業報告 ほか
〃　（第８回）	28. 3. 7	7	幹事会　平成 28 年度事業計画・総会 ほか
ﾘｰｼﾞｮﾅﾙｽﾃｰﾄ研究委員会（第１回）	27. 5.11	10	定例会　水素技術の現状把握、H27 活動計画
〃　（第２回）	27. 5.18	7	幹事会　組織変更、H27 活動計画
〃　（第３回）	27. 6.19	16	定例会　北海道におけるスマートシティ
〃　（第４回）	27. 7.27	9	定例会　水素利用についての講演会
〃　（第５回）	27.10. 5	10	定例会　水素利用についての講演会
〃　（第６回）	27.10.29	7	幹事会　中間報告、今後の活動、50 周年対応
〃　（第７回）	27.11.27	8	幹事会　今後の活動計画、50 周年行事 ほか
〃　（第８回）	28. 2.12	6	幹事会　今後の活動計画、50 周年行事 ほか
北海道ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ研究委員会（第１回）	27. 8.11	7	幹事会　今後の進め方、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟのあり方
〃　（第２回）	27.10.20	6	幹事会　第 11 回勉強会について
〃　（第３回）	28. 2.12	4	幹事会　次年度計画、研究委員会成果のあり方
エゾシカ研究委員会　（第１回）	27. 5.19	20	H26 事業報告・決算、H27 事業計画・予算 ほか
〃　（第２回）	27. 8.28	18	各グループ中間報告、閉会に向けた意見交換
〃　（第３回）	27.11.12～13	2	現地視察　知床エゾシカファーム
〃　（第４回）	27.11.27	43	エゾシカ官能試験、KKR 総料理長との意見交換
〃　（第５回）	28. 3.12	14	次年度計画及び体制 ほか
ｴﾝｼﾞｮｲ・ｻｲｴﾝｽ研究委員会（第１回）	27. 4.24	11	定例会　H27 活動計画 ほか
〃　（第２回）	27. 5.16	6	サポート事前協議（寿都町）
〃　（第３回）	27. 5.23	6	サポート事前協議（北広島輪厚児童ｾﾝﾀｰ）
〃　（第４回）	27. 6.19	12	定例会　ｻﾎﾟｰﾄ報告、今後の予定 ほか
〃　（第５回）	27. 7. 2	10	サポート事前協議（寿都町）
〃　（第６回）	27. 7. 3	3	サポート事前協議（北広島団地児童ｾﾝﾀｰ）
〃　（第７回）	27. 7.27	6	幹事会　会員増加対策、ｻﾎﾟｰﾄ内容の充実 ほか
〃　（第８回）	27. 8.21	8	定例会　ｻﾎﾟｰﾄ報告、子供たちの反応研究
〃　（第９回）	27.10.23	13	定例会　ｻﾎﾟｰﾄ報告、今後の予定 ほか

会　　議　　名	開催日	出席者数	主　た　る　議　題
〃　（第 10 回）	27. 12. 18	13	定例会　ｻﾎﾟｰﾄ報告、今後の予定 ほか
〃　（第 11 回）	28. 2. 5	10	定例会　ｻﾎﾟｰﾄ報告、次年度体制・計画 ほか
〃　（その他）	―	―	科学実験、教育サポートを 10 回開催（寿都町、北広島輪厚児童ｾﾝﾀｰ・北広島団地児童ｾﾝﾀｰ、科学の祭典、2015 サイエンスパーク、月寒川にぎわい祭り）
【地方技術士会】			
道央技術士委員会　（第１回）	27. 4. 24	4	幹事会　H27 活動方針、行事について
〃　（第２回）	27. 4. 24	23	H27 総会・講演会（室蘭市）
〃　（第３回）	27. 9. 9	16	第 1 回施設見学会及び講演会（苫小牧市）
〃　（第４回）	27. 11. 27	13	第 2 回施設見学会及び講演会（伊達市）
道南技術士委員会　（第１回）	27. 5. 15	26	H27 総会・技術発表会（第 1 回 CPD 研修会）
〃　（第２回）	27. 7. 10	23	技術発表会（第 2 回 CPD 研修会）
〃　（第３回）	27. 10. 7	29	技術発表会（第 3 回 CPD 研修会）
〃　（第４回）	27. 11. 12	40	施工現場見学会（第 4 回 CPD 研修会）
〃　（第５回）	27. 12. 5	25	技術発表会（第 5 回 CPD 研修会）
〃　（第６回）	28. 2. 12	20	新年技術発表会（第 6 回 CPD 研修会）
道東技術士委員会　（第１回）	27. 5. 22	45	第 71 回総会（釧路市）
〃　（第２回）	27. 12. 4	35	第 72 回講演会（帯広市）
道北技術士委員会　（第１回）	27. 4. 25	38	平成 27 年度年次大会（旭川市）
〃　（第２回）	27. 9. 16	21	H27 年度現地研修会（旭川、富良野、美瑛）
ｵﾎｰﾂｸ技術士委員会　（第１回）	27. 5. 22	80	定期総会・技術講演会（北見市）
〃　（第２回）	28. 3. 7	12	役員会　H28 年度総会、本部からの検討事項

第１号報告

北海道本部の平成 27 年度決算について

昨年度、コストダウンへの取組みにより北海道本部の単年度収支は黒字に転換したが、平成 27 年度は参加費収入及び会誌頒布収入が伸び悩み、結果、単年度収支が約 29 万円の赤字となった。

一方、黒字決算に向けた朗報として、統括本部における地域組織活動費の削減について、平成 28 年度より削減額を半額解除する予定である。しかしながら、財務体質の安定化を目指すべく、会員拡大及び会友購読費未収金への対策、行事参加費収入の見直し等の検討等により事業活動収入の増額を図っていく必要がある。

以下、平成 27 年度の決算の概要について示す。

■平成 27 年度決算について

【一般会計】

収入の部

全体収入……予算（計画値：1,805 万円）より約 12 万円減の約 1,793 万円

1．地域組織活動費収入（統括本部から地域本部に会員数に応じて支給される配分）が予算より約 35 万円増となった。

2．研修、セミナー、講演会、見学会、合格者歓迎祝賀会などに参加する会員から徴収する参加費収入が予算より約 19 万円の収入不足となった。

3．各種資料等頒布収入（会誌コンルタンツ北海道、登録手引き等）が予算より約 42 万円の収入不足となった。

支出の部

全体支出……予算（計画値：1,803 万円）より約 19 万円増の約 1,822 万円

1．研修、セミナー、講演会、見学会などの研鑽費について、平成 26 年度と比較し支出増は改善されたが約 50 万円の支出増となった（H26 年度：約 117 万円の支出増）。

2．業務推進費について、各委員会の参加費収入を別途収入計上することにより地域委員会活動費が予算より約 69 万円の支出増となったが、委員会活動費等のコスト縮減により約 43 万円の支出減となった。

【特別会計】

特別会計は実費清算方式であり、計画予算より約 17 万円の収入増、支出増となった。

【H27 年度収支】

・単年度収支は、予算（計画値：約 2 万円の剰余）に対し約 29 万円の赤字となった。

【次期繰越金】（一般会計＋特別会計）

・前期繰越金＋（H27 年度収支差額）

→　5,723,639 円＋（－291,617 円＋0 円）＝5,432,022 円

［以上］

第１号報告

【一般会計】平成27年度　決　算

一　般　会　計

科　　目	①27年度予算	②27年度決算	増減　②-①	備　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
Ⅰ－１　事業活動収入				
１　事業収入	**7,850,000**	**7,332,200**	**▲ 517,800**	
広告料収入	1,000,000	1,090,000	90,000	
参加費収入	2,850,000	2,662,000	▲ 188,000	
各種資料等頒布収入	4,000,000	3,580,200	▲ 419,800	会誌、受験手引,登録手引等
技術士全国大会収入	0	0	0	
２　雑収入	**971,000**	**1,011,204**	**40,204**	
受取利息収入等	1,000	1,204	204	
雑収入	0	50,000	50,000	
協賛金収入	970,000	960,000	▲ 10,000	賛助会員（協賛団体）会費
３　地域組織活動費収入	**5,123,000**	**5,474,065**	**351,065**	統括本部配分
４　地域組織活動補助費収入	**4,110,000**	**4,110,000**	**0**	
合同ｾﾐﾅｰ開催補助金収入	0	0	0	地域産学官との合同セミナー
講演会･見学会開催補助金収入	760,000	760,000	0	統括本部配分
全国大会補助金収入	0	0	0	
地域交流促進補助金収入	350,000	350,000	0	北東３地域本部技術士交流研修会
その他補助金収入	3,000,000	3,000,000	0	（家賃＋賃金②）
事業活動収入計　　(A)	18,054,000	17,927,469	▲ 126,531	
Ⅰ－２　事業活動支出			増減　②-①	
１事　業　費	**18,025,264**	**18,219,086**	**193,822**	
①業務広報費	**4,740,000**	**4,776,239**	**36,239**	
（会誌印刷費）	3,300,000	3,305,360	5,360	年３回発行
（会誌郵送費）	600,000	721,655	121,655	
（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ運用費）	600,000	478,884	▲ 121,116	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ更新，維持管理
（対外的情報発信活動費）	150,000	250,900	100,900	広告宣伝費(新聞等)
（その他の広報活動費）	90,000	19,440	▲ 70,560	パンフ、チラシ等
②普及啓発費	**0**	**0**	**0**	
（全国大会開催費）	0	0	0	
（全国大会補助費）	0	0	0	
（合同セミナー開催費）	0	0	0	地域産学官との合同セミナー
③相互交流費	**850,000**	**893,039**	**43,039**	
（地域交流促進費）	850,000	893,039	43,039	北東３地域本部技術士交流研修会
④研鑽費	**2,465,000**	**2,969,027**	**504,027**	
（講演会・見学会開催費）	2,465,000	2,969,027	504,027	CPD関連事業を含む
⑤各種資料等作成費	**10,000**	**48,900**	**38,900**	受験手引,登録手引等購入原価
⑥業務推進費	**9,960,264**	**9,531,881**	**▲ 428,383**	
（賃　金）	1,000,000	1,000,000	0	事務員補助Ｂ
（賃　金②）	1,530,664	1,530,400	▲ 264	事務員Ａ
（会議費）	1,082,000	924,985	▲ 157,015	総会,役員会,委員会,研究小委等
（旅費交通費）	1,689,000	1,417,344	▲ 271,656	各委員会，事務局交通費
（通信運搬費）	205,000	78,184	▲ 126,816	
（消耗品費）	200,000	28,555	▲ 171,445	
（印刷製本費）	615,000	533,680	▲ 81,320	年次大会ハガキ
（図書費）	10,000	38,560	28,560	
（各種会合費）	930,000	1,059,800	129,800	合格者祝賀会、研修会
（事務所賃借料）	1,279,600	1,279,600	0	
（地域委員会活動費）	858,000	1,550,385	692,385	委員会,研究委員会等活動費
（雑費その他）	561,000	90,388	▲ 470,612	慶弔費,謝礼等
事業活動支出計　　(B)	18,025,264	18,219,086	193,822	
事業活動収支差額(A)-(B)	28,736	▲ 291,617	▲ 320,353	
Ⅱ　予備費支出				
１予備費支出（C）	0	0	0	
当期収支差額(A)-｛(B)+(C)｝	28,736	▲ 291,617	▲ 320,353	
前期繰越収支差額	5,723,639	5,723,639		
次期繰越収支差額	5,752,375	5,432,022		

第１号報告

【特別会計】平成27年度　決　算

特　別　会　計

科　　目	①27年度予算	②27年度決算	増 減 ②-①	備　考
Ⅰ 事業活動収支の部				
Ⅰ－１事業活動収入				
１ 地域組織試験事務費収入	**2,345,000**	**2,515,803**	**170,803**	
試験事務費収入	345,000	515,803	170,803	
事務人件費収入	2,000,000	2,000,000	0	事務所賃借料含む
設営準備費収入	0	0	0	
２ 雑収入	**0**	**264**	**264**	
受取利息	0	264	264	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計　(A)	2,345,000	2,516,067	171,067	
Ⅰ－２　事業活動支出			②-①	
１ 試験事業費	**230,000**	**338,643**	**108,643**	
①第一次試験	**90,000**	**103,982**	**13,982**	
旅費交通費	10,000	6,030	▲ 3,970	試験業務打合せ,啓発活動等
印刷製本費	40,000	50,954	10,954	案内板，資料作成
通信運搬費	16,000	18,198	2,198	案内板等備品運搬
会　議　費	24,000	28,800	4,800	試験業務打合せ,啓発活動等
②第二次試験	**140,000**	**234,661**	**94,661**	
旅費交通費	20,000	94,628	74,628	試験業務打合せ,啓発活動等
印刷製本費	60,000	25,187	▲ 34,813	案内板，資料作成
通信運搬費	24,000	23,436	▲ 564	案内板等備品運搬
会　議　費	36,000	91,410	55,410	試験業務打合せ,啓発活動等
２ 人件費	**1,089,336**	**1,089,600**	**264**	
試　　験	1,089,336	1,089,600	264	事務局事務員
３ 事務費（試験）	**1,025,664**	**1,087,824**	**62,160**	
事務所賃借料	910,664	910,664	0	
雑費その他	115,000	177,160	62,160	試験備品補充
事業活動支出計　(B)	2,345,000	2,516,067	171,067	
事業活動収支差額　(A)-(B)	0	0	0	
Ⅱ 予備費支出				
予備費支出　(C)	0	0	0	
当期収支差額　(A)-｛(b)+(C)｝	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

監　査　報　告　書

平成 27 年度収支決算（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）について会計監査を行った結果、帳簿，書類，預金通帳等整然と整理されており、適正に執行されているものと認めます。

平成 28 年 4 月 6 日

公益社団法人日本技術士会北海道本部

会計監事　斎藤和夫 (印)

会計監事　高宮則夫 (印)

平成28年度　事　業　計　画

１．事　　務　　局　～ ●本部事務連絡窓口，●受験，登録事務窓口
●技術士試験会場選定，●問題集，手引き，参考書等の販売
●ホームページ，●技術士データベース

２．地 域 委 員 会

（１）技術士試験委員会　～ ●技術士試験札幌会場における技術士試験の準備・実施

（２）総　務　委　員　会　～ ●統括本部対応及び北海道本部検討事項の総合窓口，●各種褒賞について会員の推挙，●実行委員会を所管

（３）事　業　委　員　会　～ ●統括本部技術検討事項窓口，●講習会・見学会等の計画・実施，●技術士継続研鑽（CPD）窓口及び事業支援，●研究業績発表，●統括本部・他地域本部との共同事業

（４）広　報　委　員　会　～ ●会誌「コンサルタンツ北海道」年間３巻発刊

（５）社会活動委員会　～ ●調査研究、新規業務等の開拓，●技術士業務の斡旋，●マスコミ・行政・企業へのＰＲ，●研究委員会を所管

１）北方海域技術研究委員会　～●北方海域を取り巻く諸問題の調査研究と提言

２）ﾘｰｼﾞｮﾅﾙｽﾃｰﾄ研究委員会　～●21世紀の北海道自律を目指した提言と技術士の役割の研究

３）北海道ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ研究委員会　～●既存の規則や規制にとらわれない北海道らしい新たなルールや考え方の研究と提案

４）エゾシカ研究委員会　～●養鹿産業、エゾシカ被害軽減策に関する技術開発・研究

５）ｴﾝｼﾞｮｲ・ｻｲｴﾝｽ研究委員会　～●理科授業を通じ技術者となる人材を育成

（６）防　災　委　員　会　～ ●地震，防災に係わる情報収集に基づいた北海道型防災の調査研究，●災害発生地域への技術支援および情報提供

（７）青年技術士交流委員会　～ ●会員の相互の交流，●青年技術士の資質向上のための講習会，見学会開催

（８）倫　理　委　員　会　～ ●技術者倫理の啓発、普及

（９）地　方　委　員　会　～ ●道央・道南・道東・道北・オホーツク技術士委員会，●技術士継続研鑽（CPD）

３．主　な　事　業　～ ●北海道本部創立５０周年記念事業，
●地域産学官と技術士との合同セミナー

第２号報告

北海道本部の平成 28 年度予算について

■平成 28 年度予算

平成 28 年度は、北海道本部創立 50 周年記念、防災委員会設立 20 周年記念の節目となり、かつエゾシカ研究委員会の廃会に向けた出版物の発刊が予定されている。また、近年各委員会の活動が活性化してきており、上記を理由に委員会活動を縮減することは避けたいところである。したがって、平成 28 年度予算は、特別予算（本部 50 周年、防災委 20 周年、エゾシカ出版）計上により前期繰越金から 80 万円程度補填することで予算を作成した。

統括本部（東京）が計画している財務改善の一つである地域組織活動費の削減は、平成 28 年度より削減額が半減され、創立 50 周年特別協賛金とあわせ収入増となるが、引き続き、収入を増やすべく会員増加につながる活動を行っていく。

【一般会計】

平成 27 年度は収入減により赤字転換したが、統括本部からの地域組織活動費が増額となることから、平成 28 年度は、昨年度と同じく予算規模を 1,800 万円とした。

各委員会・研究委員会等においては、活動の活発化を損なわないように留意しながらも昨年度並の活動費として頂くことをお願いし、継続的したコスト縮減を行っていく。なお業務推進費における科目の統一を平成 27 年度から実施しているが、決算時には依然として統一運用が図られていないことから、参加費収入計上とあわせ引き続き統一を図っていく。

次期繰越収支差額は、約 467 万円と設定している。過去の事務局会計実績から、通常年度当初の繰越金が 400～500 万円あれば不安なく活動可能と考えており、次年度（H29 年度）も安定的な財務体質で運営が可能と予想される。

【特別会計】

特別会計は実費清算方式であることから、H27 年度決算同等の 250 万円規模予算とした。

［以上］

第２号報告

平成28年度　予　　算

一　般　会　計

科　　目	①27年度予算	②28年度予算	増減　②-①	備　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
Ⅰ－1　事業活動収入				
1　事業収入	**7,850,000**	**7,150,000**	▲ 700,000	
広告料収入	1,000,000	1,000,000	0	
参加費収入	2,850,000	**2,350,000**	▲ 500,000	
各種資料等頒布収入	4,000,000	**3,800,000**	▲ 200,000	会誌、受験手引,登録手引等
技術士全国大会収入	0	0	0	
2　雑収入	**971,000**	**971,000**	**0**	
受取利息収入等	1,000	1,000	0	
雑収入	0	0	0	
協賛金収入	970,000	970,000	0	賛助会員（協賛団体）会費
3　地域組織活動費収入	**5,123,000**	**5,699,000**	**576,000**	統括本部配分
4　地域組織活動補助費収入	**4,110,000**	**4,170,000**	**60,000**	
合同ｾﾐﾅｰ開催補助金収入	0	400,000	400,000	地域産学官との合同セミナー
講演会･見学会開催補助金収入	760,000	770,000	10,000	統括本部配分
全国大会補助金収入	0	0	0	
地域交流促進補助金収入	350,000	0	▲ 350,000	北東３地域本部技術士交流研修会
その他補助金収入	3,000,000	3,000,000	0	（家賃＋賃金②）
事業活動収入計　　(A)	18,054,000	**17,990,000**	▲ 64,000	
Ⅰ－2　事業活動支出			増減　②-①	
1　事　業　費	**18,025,264**	**18,755,864**	730,600	
①事業広報費	4,740,000	4,925,000	185,000	
（会誌印刷費）	3,300,000	3,390,000	90,000	年３回発行
（会誌郵送費）	600,000	635,000	35,000	
（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ運用費）	600,000	550,000	▲ 50,000	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ更新，維持管理
（対外的情報発信活動費）	150,000	230,000	80,000	広告宣伝費(新聞等)
（その他の広報活動費）	90,000	120,000	30,000	パンフ、チラシ等
②普及啓発費	**0**	**800,000**	**800,000**	
（全国大会開催費）	0	0	0	
（全国大会補助費）	0	0	0	
（合同セミナー開催費）	0	800,000	800,000	地域産学官との合同セミナー
③相互交流費	**850,000**	**0**	▲ 850,000	
（地域交流促進費）	850,000	0	▲ 850,000	北東３地域本部技術士交流研修会
④研鑽費	**2,465,000**	**2,515,000**	**50,000**	
（講演会・見学会開催費）	2,465,000	2,515,000	50,000	CPD関連事業を含む
⑤各種資料等作成費	**10,000**	**10,100**	**100**	受験手引,登録手引等購入原価
⑥業務推進費	**9,960,264**	**10,505,764**	**545,500**	
（賃　金）	1,000,000	1,000,000	0	事務員補助Ｂ
（賃　金②）	1,530,664	1,530,664	0	事務員Ａ
（会議費）	1,082,000	1,365,000	283,000	総会,役員会,委員会,研究小委等
（旅費交通費）	1,689,000	1,528,000	▲ 161,000	各委員会，事務局交通費
（通信運搬費）	205,000	190,000	▲ 15,000	
（消耗品費）	200,000	16,000	▲ 184,000	
（印刷製本費）	615,000	1,356,000	741,000	年次大会ハガキ
（図書費）	10,000	30,000	20,000	
（各種会合費）	930,000	1,280,000	350,000	合格者祝賀会、研修会
（事務所賃借料）	1,279,600	1,279,600	0	
（地域委員会活動費）	858,000	716,500	▲ 141,500	委員会,研究小委員会等活動費
（雑費その他）	561,000	214,000	▲ 347,000	慶弔費,謝礼等
事業活動支出計　　(B)	18,025,264	18,755,864	730,600	
事業活動収支差額(A)-(B)	28,736	▲ 765,864	▲ 794,600	※H28特別予算不足分を補填
Ⅱ　予備費支出				
1予備費支出（C）	0	0	0	
当期収支差額(A)-｛(B)+(C)｝	28,736	▲ 765,864	▲ 794,600	
前期繰越収支差額	5,723,639	5,432,022		
次期繰越収支差額	5,752,375	4,666,158		

※H28特別予算（本部50周年[30万円]、防災委20周年[35万円]、
エゾシカ出版[65万円]）計130万円程度による差額▲765,864は、
前期繰越収支差額から補填する。

第２号報告

平成28年度　予　　算

特　別　会　計

科　　目	①27年度予算	②28年度予算	増 減 ②-①	備　考
Ⅰ 事業活動収支の部				
Ⅰ－１事業活動収入				
１ 地域組織試験事務費収入	2,345,000	2,567,000	222,000	
試験事務費収入	345,000	567,000	222,000	
事務人件費収入	2,000,000	2,000,000	0	事務所賃借料含む
設営準備費収入	0	0	0	
２ 雑収入	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計　(A)	2,345,000	2,567,000	222,000	
Ⅰ－２　事業活動支出			②-①	
１ 試験事業費	230,000	357,000	127,000	
①第一次試験	90,000	136,000	46,000	
旅費交通費	10,000	22,000	12,000	試験業務打合せ,啓発活動等
印刷製本費	40,000	60,000	20,000	案内板，資料作成
通信運搬費	16,000	20,000	4,000	案内板等備品運搬
会　議　費	24,000	34,000	10,000	試験業務打合せ,啓発活動等
②第二次試験	140,000	221,000	81,000	
旅費交通費	20,000	55,000	35,000	試験業務打合せ,啓発活動等
印刷製本費	60,000	90,000	30,000	案内板，資料作成
通信運搬費	24,000	30,000	6,000	案内板等備品運搬
会　議　費	36,000	46,000	10,000	試験業務打合せ,啓発活動等
２ 人件費	1,089,336	1,089,336	0	
試　　験	1,089,336	1,089,336	0	事務局事務員
３ 事務費（試験）	1,025,664	1,120,664	95,000	
事務所賃借料	910,664	910,664	0	
雑費その他	115,000	210,000	95,000	試験備品補充
事業活動支出計　(B)	2,345,000	2,567,000	222,000	
事業活動収支差額　(A)-(B)	0	0	0	
Ⅱ 予備費支出				
予備費支出　(C)	0	0	0	
当期収支差額　(A)-｛(b)+(C)｝	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

第３号報告

平成 28 年度北海道本部委員会等役員

１．事　務　局

事務局	羽二生事務局長	長井事務局次長
		飯野事務局次長

２．地域委員会

技術士試験委員会	門脇委員長	長谷川(裕)幹事長
総務委員会	大熊委員長	長井幹事長
事業委員会	椛澤委員長	石村幹事長
広報委員会	金　委員長	見上幹事長
社会活動委員会	岩田委員長	植村幹事長
・北方海域技術研究委員会	若林代表	橋本幹事長
・ﾘｰｼﾞｮﾅﾙｽﾃｰﾄ研究委員会	滝澤代表	武智幹事長
・北海道ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ研究委員会	天沼代表	大槻幹事長
・エゾシカ研究委員会	五十嵐代表	細川幹事長
・ｴﾝｼﾞｮｲ・ｻｲｴﾝｽ研究委員会	小山田代表	人見幹事長
防災委員会	浅野委員長	小林(正)幹事長
青年技術士交流委員会	仁田委員長	千葉幹事長
倫理委員会	今井委員長	佐々木幹事長
地方委員会	紅葉委員長	
・道央技術士委員会	永澤代表	田中幹事長
・道南技術士委員会	布村代表	奈良幹事長
・道東技術士委員会	紅葉代表	清水幹事長
・道北技術士委員会	高桑代表	長谷川(敦)幹事長
・ｵﾎｰﾂｸ技術士委員会	橘　代表	猪口幹事長

（注）□ 囲みの方が新任です。

第４号報告

平成 28 年度日本技術士会会長表彰者（北海道本部）

公益社団法人日本技術士会会長表彰規則第５条に基づき、北海道本部より下記３名の方が受賞。

氏　名	入会年月日	受　賞　理　由
植村　豊樹	H14.7.10	長年に亘り、北海道本部幹事、北海道本部総務委員会委員、北海道本部事務局次長等を務め、本部の運営に尽力し、北海道本部並びに本会の発展に貢献した。
金　　秀俊	H15.5.13	長年に亘り、北海道本部幹事、北海道本部広報委員会委員長を務め、本部の広報活動に尽力し、北海道本部並びに本会の発展に貢献した。
布村　重樹	H15.5.12	長年に亘り、道南ブロックの代表を務めるとともに北海道本部副代表幹事を務め、特に道内地方部の技術士の活動支援、技術研鑽に尽力し、北海道本部並びに本会の発展に貢献した。

公益社団法人　日本技術士会北海道本部　委員会・研究委員会等委員名簿

（平成 27・28 年度）

B-1　技術士試験委員会

委員長	門　脇　雅　明	（電気電子）
委　員	工　藤　康　雅	（建設・総合）
〃	佐　藤　朝　夫	（上下水道）
〃	澤　口　雄　介	（建設・総合）
〃	繁　富　敬　史	（機械）
〃	関　根　幸　博	（応理・総合）
〃	高　橋　正　州	（農業・建設・総合）
〃	竹　原　智　久	（建設・総合）
〃	長　井　智　典	（建設・総合）
〃	羽　賀　　豊	（建設）
〃	宮　部　真　一	（電気電子）
幹事長	長谷川　裕　史	（建設・総合）

【A グループ】

C-1　総務委員会

委員長	大　熊　正　信	（建設・総合）
委　員	森　　隆　広	（建設・総合）
〃	椛　澤　勝　則	（建設）
〃	金　　秀　俊	（応理・総合）
〃	岩　田　徳　夫	（建設・総合）
〃	浅　野　基　樹	（建設・総合）
〃	仁　田　　智	（建設）
〃	今　井　淳　一	（建設）
〃	羽二生　　望	（建設・総合）
〃	飯　野　良　枝	（農業）
幹事長	長　井　智　典	（建設・総合）

C-2　事業委員会

委員長	椛　澤　勝　則	（建設）
副委員長	飯　野　将　徳	（上下水道・総合）
委　員	青　木　信　成	（機械）
〃	秋　田　雄　大	（水産）
〃	奥　山　修　平	（建設・総合）
〃	菅　藤　　学	（建設・総合）
〃	澤　田　浩　一	（建設・総合）
〃	鈴　木　智　之	（応理・建設・総合）
〃	原　田　哲　郎	（上下水道・総合）
〃	宗　広　一　徳	（建設）
〃	吉　田　　透	（建設・総合）
幹事長	石　村　正　一	（建設）

C-3　広報委員会

委員長	金　　秀　俊	（応理・総合）
委　員	荒　木　雅　紀	（建設）
〃	加　藤　美穂子	（生物・農業）
〃	鎌　仲　修　志	（建設）
〃	佐　藤　厚　子	（建設・総合）
〃	知　本　康　男	（建設・応理・総合）
〃	本　間　英　敏	（建設）
幹事長	見　上　敏　文	（水産・総合）

C-4　社会活動委員会

委員長	岩　田　徳　夫	（建設・総合）
副委員長	田　中　輝　幸	（建設・総合）
委　員	小山田　応　一	（電気電子・情報）
〃	川　島　由　載	（建設・総合）
〃	篠　原　　安	（農業）
〃	田　中　真　也	（農業・総合）
〃	永　瀬　次　郎	（衛生・総合）
〃	宮　本　真　一	（機械）
〃	若　林　隆　司	（水産・建設）
幹事長	植　村　豊　樹	（建設・総合）

【B グループ】

D-1　防災委員会

委員長	浅　野　基　樹	（建設・総合）
副委員長	城　戸　　寛	（建設・総合）
副委員長	渡　辺　敏　也	（建設・総合）
委　員	高　宮　則　夫	（建設・総合）
〃	安　達　幸　弥	（建設）
〃	榎　本　義　一	（応理）
〃	大　浦　宏　照	（応理・総合）
〃	谷　村　昌　史	（建設・総合）
〃	福　間　博　史	（建設・環境・総合）
〃	星　野　利　幸	（建設・総合）
幹事長	小　林　正　明	（建設）

D-2　青年技術士交流委員会

委員長	仁　田　　智	（建設）
副委員長	小　澤　正　志	（建設・総合）
〃	木　本　光　則	（建設・環境）
〃	神　保　祐　一	（機械）
〃	平　岡　城　栄	（建設）
幹事長	千　葉　裕	（建設）

D-3　倫理委員会

委員長	今　井　淳　一	（建設）
委　員	花　田　眞　吉	（建設・総合）
〃	日下部　祐　基	（建設）
〃	佐　崎　雅　史	（建設・総合）
〃	武　田　雅　志	（建設・総合）
幹事長	佐々木　裕　之	（建設・総合）

※Aグループ：委員全て正会員
　Bグループ：主要幹部が正会員

【研究委員会】

E-2　北方海域技術研究委員会

代　表	若　林　隆　司	（水産・建設）
幹事長	橋　本　孝　治	（建設・総合）

E-3　リージョナルステート研究委員会

代　表	滝　澤　嘉　史	（建設・総合）
幹事長	武　智　弘　明	（上下水道・建設）

E-6　北海道スタンダード研究委員会

代　表	天　沼　宇　雄	（建設・総合）
幹事長	大　槻　政　哉	（建設・総合）

E-8　エゾシカ研究委員会

代　表	五十嵐　敏　彦	（応理・建設・総合）
幹事長	細　川　康　司	（建設・総合）

E-9　エンジョイ・サイエンス研究委員会

代　表	**小山田　応　一**	（電気電子・情報）
幹事長	**人　見　美　哉**	（応用理学）

※太字：H28 年度期中交代

【地方委員会】

F-1　道央技術士委員会

代　表	永　澤　正　則	（建設）
幹事長	田　中　雄　太	（建設・総合）

F-2　道南技術士委員会

代　表	布　村　重　樹	（建設・上下水道・総合）
幹事長	奈　良　哲　男	（建設）

F-3　道東技術士委員会

代　表	紅　葉　克　也	（建設・総合）
幹事長	清　水　慎　吾	（建設）

F-4　道北技術士委員会

代　表	高　桑　史　郎	（建設・総合）
幹事長	長谷川　敦　規	（建設・総合）

F-5　オホーツク技術士委員会

代　表	橘　　邦　彦	（建設・総合）
幹事長	猪　口　公　志	（上下水道・総合）